

博物館だより 2014年 春号 *The Museum Letter*

葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum

かつしかの魅力、再発見。

郷土と天文の博物館 再オープン

4/5(土) 午前9時
オープン!



Contents



リフレッシュした館内



郷土展示室

「かつしかの暮らし」を
リニューアル



再オープン記念 博物館 春まつり

4月5日(土)の再オープン日は、イベントが盛り沢山!
入館料・プラネタリウム観覧料が無料です。



ミニ展示

「博物館収蔵資料展

げんじゅいん
～源寿院の和時計など」



企画展

「日本刀の美と技 葛飾の名工たち」



4月の

プラネタリウム投映番組

No.

108

かつしかの魅力、再発見。4/5(土) 午前9時オープン!

郷土と天文の博物館

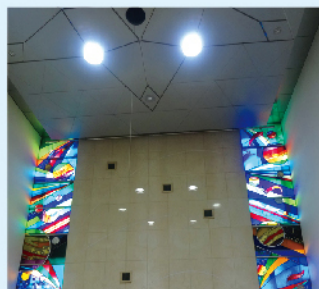
再オープン

▶4月5日の博物館春まつりでの各種イベントは
10時～順次スタート!

昨年10月より改修工事のために休館していた郷土と天文の博物館が、館内設備と一部の郷土展示室をリニューアルして再オープンします。
より快適になった館内で、郷土かつしかと宇宙への旅を楽しもう。

リフレッシュした館内

さらに安全・快適に利用でき、環境にやさしい博物館とするために、開館から23年を経て古くなっていた空調・給排水・照明などの設備をリニューアルしました。



LED照明で明るく、環境にやさしくなった館内（写真は吹き抜け部分）

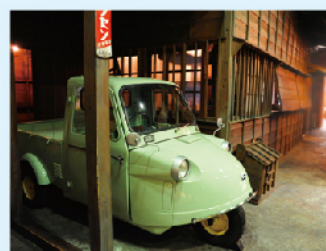


展示室の一例。
（写真は郷土展示室）

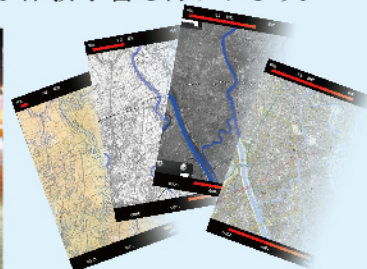


郷土展示室 「かつしかの暮らし」をリニューアル

映像を使って、農村から都市へと発展した葛飾の景観や土地利用の移り変わりをわかりやすく紹介。また、いつも新しく、体験できる展示室をめざし、新しいトピックスの紹介や、様々な体験学習も行われます。



葛飾の産業など、新しいトピックスを随時紹介。体験学習ができるコーナーも。



時代とともに移り変わる葛飾の様子を映像で見られる「地図から見るかつしか」

新しくなった博物館に、ぜひお越し

ください! 詳細はお電話か博物館ホームページでご確認ください。

再オープン記念 博物館春まつり

再オープン日は、博物館を支えるボランティアの皆さんとともにさまざまな体験イベントを開催します。当日は入館料・プラネタリウム観覧料は無料です。

日時 4月5日(土) 10時～

※イベントによって開催時間が異なります。
※材料がなくなり次第終了となるイベントもあります。

主なイベント

わら細工体験／郷土民話の紙芝居／さわれる展示(土器・埴輪)／天文展示解説／天文工作コーナー／星の観察会 ほか



ミニ展示／企画展

葛飾の魅力や伝統を、展示を通して紹介します。

ミニ展示

「博物館収蔵資料展～源寿院の和時計など」

期間 4月5日(土)～13日(日)

江戸時代に作られた和時計の世界をお楽しみください。



企画展

「日本刀の美と技 葛飾の名工たち」

期間 4月26日(土)～6月15日(日)

日本刀を作る職人たちの匠の技をご紹介します。



詳しくは中面へ

プラネタリウム

宇宙を体験できる番組と生解説が人気のプラネタリウムも再開。これまで人気が高かったオリジナル番組の中から「かつしかから宇宙へ」の3作品をアンコール放映

期間 4月5日(土)～25日(金) ※春の新番組は、4月26日(土)

へ」「ハワイ、します。

から放映予定です。



日本刀の美と技

葛飾の名工たち

日本刀は反りのある刀です。この独特な形は平安時代に成立したと考えられます。素材の玉鋼を鍛錬して作り上げ、武器としての機能を高めました。また、刃文や地鉄などの装飾性も追求されてきました。

葛飾区内には、東京都指定無形文化財保持者、葛飾区無形文化財保持者である日本刀製作技術に関わる刀鍛冶、研師、白銀師の職人が6人います。現代の日本刀は、これら葛飾区在住の職人たちを含む多くの職人による伝統技術が維持されることによって製作されています。

日本刀の製作には、多くの職人が携わり、多くの工程を必要とします。この展示では、日本刀の製作過程、職人の持つ技術を紹介し、葛飾区在住の日本刀製作に関わる職人の優れた作品を展示します。

1 日本刀を知る

日本刀の歴史

古墳時代から平安時代にかけては、反りが無い直刀でした。その後、反りのある刀が出現します。反りのある湾刀は腰に吊り下げ、騎馬戦に適したものでした。南北朝時代から室町時代以降、徒歩戦中心の戦闘になると、腰に差して抜き打ちする刀（打刀）が多用されるようになります。江戸時代は大小の二本差が定着します。

日本刀の種類と仕組み

日本刀は太刀、刀（打刀）、脇指、短刀などがあります。日本刀は、刀身、それを持つ柄、刀身を保護する鞘など多くの装着具が必要です。また、刀を美しくみせるために刀装具を付けた拵仕様にすることもあります。

2 職人たちの技

日本刀の製作には、刀鍛冶、研師、白銀師、柄巻師、鞘師、塗師など様々な職人が関わります。この展示では、葛飾の刀鍛冶、研師、白銀師の仕事に注目していきます。

刀鍛冶の仕事

刀鍛冶は刀身の製作をします。鍛冶場で、素材加工、鍛錬など火を使う作業を主に行います。鍛錬の過程で、軟質の心鉄と硬質の皮鉄を合わせます。この硬軟の二つの鉄の鍛接が、日本刀製作の特徴の一つです。鍛錬やヤスリ掛けなどで刀の形状まで成形すると、土置きをします。これを焼き入れすることで刃文ができます。土の置き方で刃文の形が異なります。職人の個性がここに表現されます。仕上げでは、歪みを直し砥石で研ぎ（鍛冶押し）、最後に茎に職人の銘を刻みます。

研師の仕事

研師は数種類の砥石を使って刀身を研磨し鮮やかに見えるように仕上げしていきます。最初は目の粗い砥石を用いて、徐々に目の細かい砥石に替えていきます。この過程は下地研と呼ばれ、刀の姿形を整えていきます。次は仕上げ研ぎと呼ばれる段階で、目が細かく、指先程の大きさにした砥石を使います。刀の肌や色、光沢を調整したり、焼き刃を美しく見せるなど、刀身を磨いていきます。

白銀師の仕事

白銀師は鍔を製作します。鍔は刀身を鞘の中で固定させるための金具です。鍔の素材は主に銅が使われます。はじめに素材を必要な分切り取り、刀身に合うように金槌で叩いて均一の厚さに延ばしていきます。それを刀の断面形に合わせて巻き、合わせ目を色々な種類の蠟を使い溶接します。刀身にぴったりと合うように微調整し、薄く延ばした金を上に貼り付け完成させます。

3 日本刀の美

現代刀匠の世界で活躍する刀鍛冶の製作した、日本刀を展示します。ここで展示する作品は、様々な作業を経て完成したものです。優れた技による作刀は、長年の努力と経験によって培われました。刀身に表現された刃文には刀鍛冶の想いが込められています。

併催企画

記念講演会

「日本刀への誘い」

日時 5月24日（土） 14時～16時
出演 久保恭子氏
（刀剣博物館 主任学芸員）

「日本刀の特徴と作り方」

日時 6月7日（土） 14時～16時
出演 吉原義人氏
（刀鍛冶 東京都指定無形文化財保持者）

実演会

「日本刀の研ぎ」

日時 5月18日（日） 14時～16時
出演 高岩節夫氏
（刀剣研師 葛飾区指定無形文化財保持者）

「鍔の製作」

日時 5月31日（土） 14時～16時
出演 宮島宏氏
（白銀師 葛飾区指定無形文化財保持者）

イベント

「五寸釘でペーパーナイフを作ろう」

日時 5月17日（土） 13時30分から15時30分
指導 吉原國家（壮二）氏
（刀鍛冶 東京都指定無形文化財保持者）

会期 平成26年

4月26日（土）▼6月15日（日）

会場

葛飾区郷土と天文の博物館
特別企画展示室ほか



葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

開館時間

午前9時～午後5時

(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日、第2・4火曜日

(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌日休館)

入館料

大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料

(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

プラネタリウム 観覧料

大人 350円 小・中学生 100円

幼児(座席を使う場合) 50円

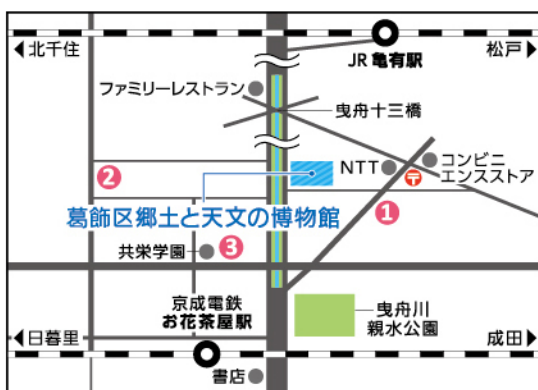
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

年間パスポート

大人 2000円 中学生以下 700円

購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、当館からのおたよりを1年間お送りします。

アクセス



電車 京成線「お花茶屋」駅から徒歩8分

- バス**
- ① 「レインボーかつしか」(有71・有72系統)または京成タウンバス(有70系統)で「白鳥わかば公園」バス停下車徒歩3分
 - ② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車徒歩5分
 - ③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車徒歩5分

博物館だより

発行

葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063

東京都葛飾区白鳥3-25-1

電話：03-3838-1101

FAX：03-5680-0849

Web：http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/